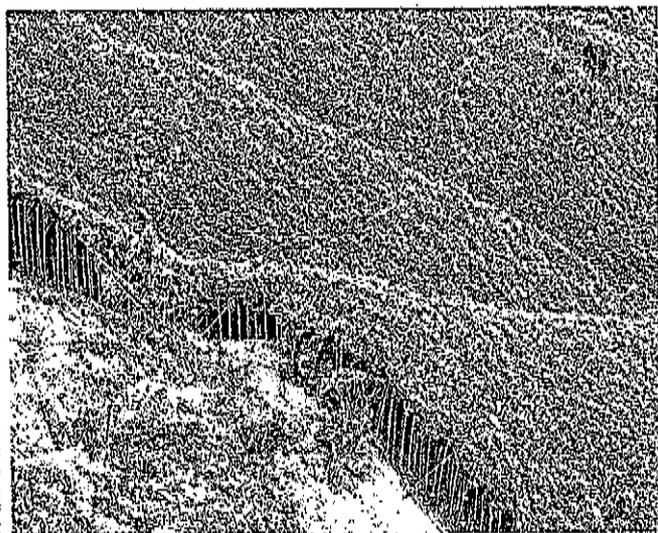


台風15号

静岡で豪雨 3人死亡

鉄塔2基倒壊 12万戸停電

台風15号の影響で、静岡県では23日夜から24日朝にかけて記録的な大雨となった。掛川市では土砂崩れと車がため池に転落する事故で2人が死亡し、袋井市でも冠水した道路で溺れたとみられる男性が死亡した。浜松市の土砂崩れでは3人がけがをし、起点の土地に盛り土があった可能性が浮上した。他に軽トラック運転の男性1人の安否が不明。静岡市で発生した山崩れで中部電力の送電鉄塔2基が倒れ、最大で10市町の計約12万戸が停電した。東海道新幹線はのぞみとひかりが24日正午ごろまで運休、山陽新幹線との直通運転も取りやめ、連休の交通



山崩れで倒れた中部電力の送電鉄塔2基＝24日午後2時50分、静岡市葵区(共同通信社ヘリから)

は混乱した。台風は24日午前、温帯低気圧に変わったが、気象庁は引き続き大雨による土砂

災害などに厳重な警戒を呼びかけた。温帯低気圧は静岡付近から次第に東へ進むが、北日本から延びる前

線も関東を通過した。

気象庁によると、静岡市駿河区では早朝までの12時間、観測史上最多となる404.5ミリを観測。平年の9月降水量の約1.5倍に当たる。他にも静岡市葵区392.5ミリ、藤枝市391.5ミリ、森町359.5ミリなどで最多となった。

中部電によると、倒れた送電鉄塔とは別のルートで電気を送る作業が完了したため、停電は近く大部分で復旧する見込み。鉄塔は、山崩れで1基が倒れた後、つながった電線に引っ張られてもう1基も倒れた。復旧には数カ月かかるといふ。

静岡県によると、警戒レベル5の避難情報「緊急安全確保」の対象は最大で浜松市などの70万人超、避難指示の対象は静岡市などの215万人超に上った。県は静岡市などの23市町に災害救助法の適用を決定した。浜松市天竜区緑嵐台で24日未明、住宅3棟が土砂崩れ

に巻き込まれた。そのうち1棟で男児(9)を含む3人が犠牲。男児は住宅に取り残されたが、消防などに救出された。複数の住居によると、土砂崩れの起点となった土地には10年以上前から盛り土が造成されていたという。

掛川市でも住宅1棟が土砂崩れに巻き込まれ、住人の山崎信司さん(45)が死亡。また岡市高瀬のため池に乗用車が転落し、運転していた岡市の無職井川翔馬さん(26)が死亡した。

袋井市の田んぼのあせ道に70代男性が倒れているのが見つかり、死亡が確認された。近くに水没した車があり、冠水した道を歩こうとして溺れた可能性がある。岡田市では、道路が崩落するなどして、市内3カ所の計約700世帯が孤立した。